

都大会3位で 関東大会初出場

「恩返しのできるようにプレーしたい」

少年野球の「2019年度夏季ティール大会／関東四連盟大会東京代表決定戦」の決勝トーナメントが3日、昭島市で行われ、秋川リトルリーグのジュニア（小高直行監督）が初出場。秋川は準決勝で調布に1-2で惜敗したが3位となり、26日（日）に葛飾区で開催される関東大会への初出場を決めた。

（西村周朗）

秋川リトルリーグのジュニア



同決定戦は東京都内のリトルリーグ4連盟に所属する18チームのジュニア（幼稚園・保育園〜小学3年）が出場。ピッチャーの投球はなく、打者はティール上のボールを打つティール形式で行われ、上位4チームが関東大会への出場権を獲得する。8年前から出場している秋川のこれまでの最高成績はベスト8で、関東出場にあくと一歩で涙を飲んできた。

今大会の秋川は予選ブロックで東京中野を8-1、墨田Bを14-7で下し決勝Tへ進出。決勝T初戦で強豪

東京北砂を19-0で破ったが、準決勝の調布戦は接戦の末、1-2で敗退。小高監督は「うちよりも調布の勝ちへの気持ちがあがらずに勝った結果。しかし、選手は1点とられてもバタバタせず2点で抑えた。大会を通じて成長した」と振り返る。

大田との3位決定戦では初回到3点を先制し、リードを守り切った秋川が6-2で勝利。関東大会の出場権を初めて獲得した。

森田颯次郎主将（五日市小3年）は「監督を関東大会に連れて行くことがチームの夢で、その思いを胸に大会に臨んだ。調布に負けて悔しかったが、3位になったことは良かった」とし、関東大会へは「監督、コーチ、家族に恩返しできるよ

うにプレーしたい」と意気込みを示した。

小高監督は「関東では都代表として今までやってきたことを全部出して、一番になりたい」と話していた。

◇ 同チームでは随時、選手を募集中。練習はあきる野市二宮東のあきる野市総合グラウンドC面、土日祝の午前9時〜午後5時。体験も随時受付。詳細はHPへ。問い合わせは細野さん（042・558・5596）へ。